

パッシブ制振構造設計・施工マニュアル 第4版別冊1 正誤表

頁	節	行	誤	正
I-25	1.7	図 1.7.6	<p>図 1.7.6 ガセットプレートの面外変形拘束</p>	<p>図 1.7.6 ガセットプレートの面外変形拘束</p>
I-34	2.3	図番号	図 2.6	図 2.3.6
I-34	2.3	図 2.3.7 の上の図	<p>図 2.3.7 付加系力-層間変形関係</p>	<p>図 2.3.7 付加系力-層間変形関係</p>
I-47	4.1.3	図 4.1.3 の右式	<p>図 4.1.3 オイルダンパーのフランジ</p>	<p>フランジ(FCD500) 板厚 t_f $w=190\text{ mm}$, $t_f=75\text{ mm}$ $l=118\text{ mm}$, $l_1=57\text{ mm}$, $l_2=61\text{ mm}$, $Z_p=190 \times 75^2 / 4=267,188\text{ mm}^3$ $\sigma_y \geq 320\text{ N/mm}^2$ $M_p=320 \times 267,188 / 1,000,000=85.5\text{ kN}\cdot\text{m}$ 高力ボルト 8-M27 (F10T) 短期許容引張耐力 $p_{bu}=266\text{ kN/本}$</p>
I-57	4.2.4	5 行目	別冊 1-4 の粘性体制振装壁による	別冊 1-IV の粘性体制震壁による
I-67	4.3.3	図 4.3.3	<p>図 4.3.3 コの字金物</p>	<p>図 4.3.3 コの字金物</p>
I-79	4.5.2	6 行目	鋼構造制振設計指針	「鋼構造制振設計指針」 ⁵⁾

頁	節	行	誤	正
Ⅱ-1	1章	1行目	別冊 1-2	別冊 1-Ⅱ
Ⅱ-19	実施例 3	下から 4 行目	グラウンドライン	グラウンドレベル
Ⅱ-20	実施例 3	図 3.2	[方位表示抜け]	 [オフィス階平面図の 左下に追加]
Ⅲ-1		4 行目	急速に発展したきた。	急速に発展してきた。
Ⅲ-1		5 行目	意味している考えられる。	意味していると考えられる。
Ⅳ-43		最下行	$\beta_1=0.00004T^2-0.039T+1.62$ (10)	$\beta_1=0.0004T^2-0.039T+1.62$ (10)
Ⅳ-88		図-3	図-3 摩擦力の振動数依存性	図-3 摩擦力の速度依存性